

発注仕様書に対する質問回答書（第1回）

N o	資料名	頁	項目	質問等	回答
1	発注仕様書	5630	(3)凝集沈殿処理設備	「本設備は・・・カルシウムを主に除去するための設備であり、・・・」とありますが、性能保証事項にはカルシウム濃度の記載がありません。カルシウム除去設備の設置は要求仕様でしょうか。その場合、濃度条件を御指示下さい。	要求仕様ではありません。
2	発注仕様書	16	第7節処理系列	「提案によるが、以下のフローを基本とする。」とあり、生物処理設備→凝集沈殿処理設備と凝集沈殿処理設備→生物処理設備のフローが記載されています。この場合どちらかを基本とするという解釈で宜しいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	発注仕様書	1920	(7) B槽移送ポンプ (10) 浸出水調整池移送ポンプ	B槽移送ポンプは、発注仕様書p5の⑤最大降水量315mm/日であるH15年7月19日の時間最大の99mm/時に対応出来れば宜しいでしょうか。また浸出水調整池移送ポンプは、99mm/時対応とすると、高低差があるため特殊仕様となり、運転頻度・コスト面・維持管理面を考慮すると、過剰な設備となります。大雨時には浸出水調整槽の水位計により流入電動弁を調整し、流入浸出水量を制御した上で、それに見合ったポンプ能力として宜しいでしょうか。	B槽移送ポンプ及び浸出水調整池移送ポンプの仕様（容量、台数等）については、参考見積提案募集要項等に係る質問への回答時に配布した浸出水処理施設能力・調整容量計算書における最大送水量(H21.7.26) 約6,000m3/日を確実に送水できるものとして下さい。 また、流入浸出水量を制御することは問題ありませんが、容量計算書上で想定している範囲内においては堤内貯留をしないよう計画して下さい。
4	発注仕様書	35	5) 特記事項	「管理道路上を横断するため灰搬出車両等の・・・」とありますが、灰搬出車両の規格をご教示ください。また、脱水汚泥の搬出車両の規格もご教示ください。	灰搬出車両の車高は約3,000mmです。脱水汚泥の搬出車両は貴社の設備構成等により選定されますが、灰搬出車両よりは小さいものを想定しております。
5	発注仕様書	42	(2) 無停電電源装置	屋内閉鎖自立型となっていますが、負荷対象機器によってはミニUPSで対応しても宜しいでしょうか。	特記事項を満たすようにご提案下さい。
6					
7					
8					
9					
10					